

はなわ 議会だより

2026
No.173

発行／福島県埴町議会
令和8年1月23日



サツマイモのプリンケーキ、おいしかった！
収穫祭（笹原小学校）

12月定例会

- 議会報告会・意見交換会を開催 … P 2～3
- 庁舎建設工事変更契約などを可決 … P 4～6
- 町政を問う（一般質問）…………… P 6～13
- 追跡レポート…………… P 14



埴町議会ホームページ
QR



埴町議会フェイスブック
QR



埴町議会X
（旧ツイッター）
QR

埴町公民館高城地区館で開催！

議会報告会・意見交換会



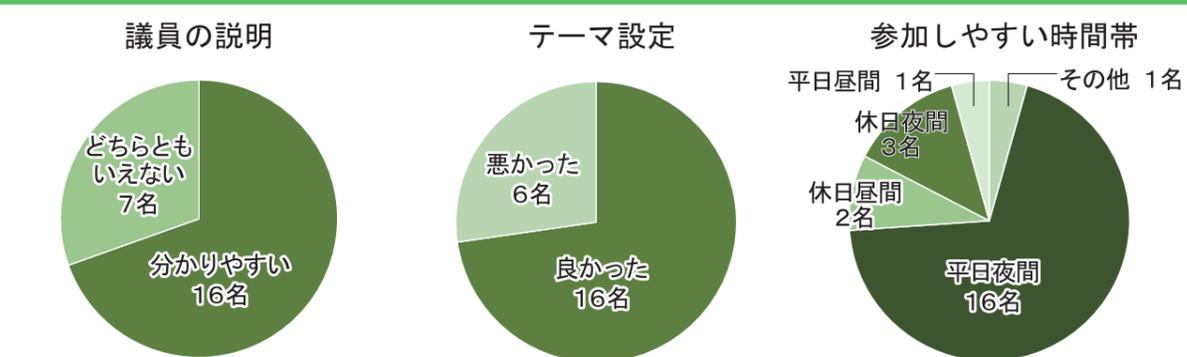
活発な意見交換が行われました

町民への情報提供や活動報告のほか、地域の課題を把握するため、町民と議員が自由に意見や情報を交換する議会報告会・意見交換会を令和7年10月24日（金）、埴町公民館高城地区館で開催し、下重義人副議長が進行役となり意見交換が行われました。テーマは①埴工業高等学校校跡地活用方針について ②議員定数・報酬について ③ほかどんなことでも とし、幅広い視点から意見や要望が出されました。今後、この内容をより良い町づくりのための議会活動に反映させていきます。

※議会報告会・埴町議会基本条例第6条において、毎年行うものと規定しています。

事項	参加者からの意見	議会からの返答
① 埴工業高等学校校跡地活用方針について	いつごろまでに更地にして、内容を決めて、着工して、利用できるようになるか目安は？	町からの説明で、県下10数校あるうち年1校ずつ実施していく状況で、早いもの順。県に早く手を上げた方から実施となるが、手を挙げてから早くも2~3年後に解体実施。
	更地以降の計画もすぐに決めるべきか。	更地にするかどうかの計画が先で、それ以降は時間の余裕がある。
	他町村で有効活用の事例はあるか。	更地にするかどうかの判断が優先で、その部分は確認していない。今のところ決定した市町村はないのではないかと。
	建物存続してもどうしようもない。更地にして今後活用を決めていくべき。	—
	築年数の点から維持していくのは難しい。解体するのがベスト。	—
	壊すのが一番。使いみちとすれば杉苗を植えて森に戻す。	—
	更地が良い。若い人たちの負担にならない方向で進めてほしい。	—
	県の補助があるうち、解体が良い。	—
	参考に、残したいという意見はあるのか？	部分活用をしたいという意見は聞いている。
	若い人が集まれる場所、子どもが遊べる場所がほしい。室内でも遊べる場所も良い。	以前、スケボー施設・クライミング施設の要望もあり、議会でも一般質問があったが、若い人向けのスポーツ施設・憩いの場所があっても良い。
② 議員定数・報酬について	雨風雪しのげて、一年中使える施設が良い。ドーム。	—
	周辺自治体の公園のように、作るというよりも何もない贅沢な施設、芝生が広がる施設があっても良い。秋祭りや大きいイベントも開催できる。	他県などでもそういう施設があり、子どもたちがものを持ち込んで工夫しながら遊んでいる姿が見受けられる。そういったスペースを提供するのも良いと思う。
	人口が減っている中で議員定数を減らす方が良いのではないかと。報酬は、議員で協議して決めた方が良い。	埴は平均的な位置にいる。
	・人口に対して13名。適正なのかどうか。報酬は低いようにも見えるが、議会としてどう考えているか。	・調査委員会を立ち上げてこれから調査していくが、今日の意見も含めて町民の声を聞きながら進めていきたい。
	・町民の声を聞くのは良いが、町として、議会としての考えがあって討議していかないと進んでいかないのでないか。	・以前定数14を維持するために、報酬総額を12名分にして個人の報酬を14で割る形をした。その後、13に減らし報酬を1万円増額して現在に至った。
	・人口比率のこともあり定数は考えなければならぬが、報酬は埴町は低い。議会の意見を聞きたかった。	・令和5年において、県内町村のうち下から4番目の報酬だった。
	・報酬を見て議員になるものではない。なり手がいないから報酬を上げるのは問題外。定数は何人いても良いが、議員としての仕事をやってもらいたい。首長との均衡が保てる議会であってほしい。	・人口減少と共に、なり手不足が問題になる。若い人も議員になりたくなるような環境整備が必要。
	・地域で何人という考え方もあるが、埴町全体を見ていただきたい。	・定数を検討するに当たり研修会に参加しているが、その際に定数を減らせば良いというものではないと聞く。町執行部とのパワーバランスもある。
	地域に根差した議員がいないと、陳情・請願が少なくなるのではないかと。今の議員で足りるのか。知っている議員が多いことが町民の安心感にもつながる。	・子育てをしている若い人に出てもらうためにも、報酬を検討していかねばならない。定数も、減りつつあるが埴町の地形を見ると少なくとも良いということではない。執行部とのバランスもあるのである程度の人数は必要。
	議員定数が減って仕事量が増えてしまうのなら、報酬を上げてほしい。	・一般的には人口700~1000人に議員1人といわれている。埴町は広いから定数を増やすべきというものもあるが、全部の声を聞くために人数を増やすのもどうかと思う。
集落に議員がいないと差が出るときもある。相談しても地元議員に言えと言われたこともある。町民の声が上がらないこともある。	・議員は多ければ多い方が良いと思う。議員の目と耳と口は多い方がいい。執行部とのバランスも大切である。地元だけではなく埴町全体を見て仕事をしている。	
町民の声を吸い上げてほしい。	—	
③ほか	地域おこし協力隊が町にほとんど残らない。今後の活用・町おこしの予定は。	応募があれば対応していく。

参加者データ (34名の方に参加いただき、23名から回答をもらいました)



- 理由
 - ・人により分かりやすい、分かりにくいがあった。
 - ・各質問に対し、丁寧な回答だった。発言しなかった議員もいた。
 - ・補足など具体的に分かりやすかった。
- 希望するテーマ
 - ・水郡線の利活用について
 - ・議員の役目について
 - ※無回答 1
- ※複数回答あり
 - ※無回答 1
 - ※その他 1：休日の朝

●要望や感想など（自由記載）

- ・準備お疲れさまでした。議員の皆様の誠実な姿を感じ頼もしく思いました。これからもよろしくお祈りします。
- ・テーマが2つだけですが、他にも伝えたいことは無かったのでしょうか？
- ・物価高騰対策をしてほしい。
- ・こういう機会は、とても良いと思います。今後もぜひ続けてください。
- ・埴工業高跡地の件については、町の方針がある程度決まっているというところでその後押しをしてほしくて意見を聞いているのかなと思いました。いろいろ考えると、現状は更地にするのがベストかなと思います。
- ・議員定数・報酬については、今後十分ご検討ください。特に希望はありません、町のために働いてくだされば。
- ・普段聞けない話が聞けて良かったと思う。
- ・議員報酬は安すぎると思います。30万円くらいが良いと思います。
- ・各年代（若い年代、中年世代、高齢世代）で議会報告会があっても良い。

可決

役場庁舎建設第Ⅱ期工事請負変更契約

1949万円増額

このほか一般会計5812万円を増額補正

12月 定例会のあらまし



12月定例会は12月10日(水)から12日(金)までの会期で開催し、条例7件、契約締結1件、補正予算6件が提出されました。一般質問では7名の議員が登壇し、さまざまな課題等を取り上げ、町政について質しました。最終日には、人事案件16件が追加議案として提出され、全議案とも原案どおり可決となりました。

一般会計補正予算

- 【主な内容】
・光ファイバーケーブル関係工事費 3024万円
・風力発電事業に係る光ファイバーケーブル移設に伴う工事費を計上するもの。同額を負担金として風力発電事業者から賄う。
・地域公共交通活性化協議会補助金 120万円
町内5地区で実施しているデマンド交通実証事業に係る費用分の追加補助を行うもの。
・障害福祉サービス給付事業費 2036万円
主に生活介護、共同生活援助及び就労継続支援利用者の増によるもの。
・クマ対策関連経費 38万円
全国的に問題となっておりクマ対策に資する消耗品の購入費用及び緊急銃猟時の補償保険料として計上するもの。

質疑(条例)

審議結果一覧No.1
事業者にはどのような協力を求めているのか。
(健康福祉課) 主に観光業において、あいさつ程度の手話ができるような観点で協力を周知していきたい。
(健康福祉課) 現在はいない。職員研修などで習得をしていきたい。

審議結果一覧No.6

福島県人事委員会勧告に基づく職員給料表の改定による増加率はどのくらいか。
(総務課) 平均で2.97%の引き上げ改定。
昇給に際して、人事評価は行っているのか。
(総務課) 人事評価をした上で昇給を決定している。なお、懲戒処分等がある場合は、その内容に応じて昇給を抑制することがある。
勤勉手当について、実績に応じた支給率を設けるべきではないか。
(総務課) 現在の人事評価制度には、機能していない面があるものと認識しており、今後、評価結果が勤勉手当の支給率に適切に反映されるよう、制度の見直しを検討している。

議案等の審議結果一覧表

Table with 4 columns: No., 議案番号, 議案内容, 審議結果. Contains 16 items including budget amendments and ordinance changes.

質疑（契約）

審議結果一覧No.8

Q 変更金額の算定はどのように算出しているか。

A (まち整備課) 積算システムのほか、基準単価が不明なものについては3〜5者から見積りを徴し加重平均で算出している。変更後の工事設計額に落札率を乗じてこの額を提案している。

Q 笹原森林管理事務所への賃貸借契約の詳細は。

A (総務課) 令和8年4月1日から、地方自治法に基づく行政財産の目的外使用許可として笹原森林管理事務所に貸し付ける。使用期間は3年毎に許可・更新し、使用料は建設費用と耐用年数を基礎に算定し、初年度年額約150万円から減価償却により年々減額していく。

Q 防火戸の変更減について、永年文書を保管する書庫であるが減でよいのか。

A (まち整備課) 準耐火構造をもった建物である。防火戸は避難のための時間を確保するものであり、書類を防護するものではない。生垣にガードフェンス設置の検討は。

A (まち整備課) 歩車道境界ブロックや花壇跡もあり、現時点では検討していない。
Q 福祉会館と庁舎敷地の開口部がかなり広いが、安全上どうか。

A (まち整備課) 今後通り抜けできないような整備など検討していきたい。

質疑（補正予算）

審議結果一覧No.9

Q 福島牛次世代型技術実証事業補助金の内容。

A (農林推進課) 新しい視点を持った生産者の確保や生産体制を改革するため、肉用牛一環経営への転換や先端技術を活用した短期肥育実証に対する支援を行う。福島牛生産基盤の復興を目指すもの。福島県の単独補助事業。町内の肥育と繁殖を一体して実施している事業者が対象。

Q ふくしま旬の食材等活用推進事業支援金の内容。

A (学校教育課) 県の食材を使って給食を提供する事業。福島県産の牛肉等を購入して実施。福島県産者特別弔慰金支給事業事務費補助金が計上されている。

Q 戦没者弔慰金の現在の申請数は。

A (健康福祉課) 対象は70件で現在の申請件数は24件。

Q 新規就農者経営開始資金補助金の減額理由。

A (農林推進課) 3カ年にわたる150万円が補助される事業で米農家が1件該当していたが、米高騰により補助対象とならなかったため、減額となった。

質問

新教育長の教育方針は

答弁

ふるさとを後世につなげる教育

質問 教育長としての抱負及び教育方針はどのように考えているか伺う。

答弁 地域と連携を取り、ふるさとを後世につなげる教育、心の教育に取り組んでいきたい。

質問 小学校は2校が望ましいと町長も答弁しているが、学区外に

通学している児童がいると聞く。町ではどのように対応しているのか伺う。

答弁 町内2つの小学校で、それぞれ学区が決まっている。児童・生徒を異なる学区へ通学をさせたい保護者から指定変更の申請があった場合、承認しているのが現状である。

質問 なぜそのような対応をしているのか。このままでは笹原小学校の児童がいなくなり、学校が無くなってしまふ。教育委員会においてより良い方向に向け取り組んでもらいたい。考えを伺う。

答弁 教育委員会において検討していきたい。



ふじた かずお 議員
藤田 一男

全身全霊



個人QRコード

一般質問

町政を問う

P7



ふじた かずお 議員
藤田一男議員

- ・教育長就任
- ・小学校の学区

P8



ほりえ ゆうじ 議員
堀江祐司議員

- ・クマ対策
- ・埴工業高等学校の跡地利用

P9



きくち てつや 議員
菊地哲也議員

- ・埴町の教育
- ・町の花ダリア生産
- ・町のクマ対策
- ・ガソリン税暫定税率廃止

P10



あお とうぞう 議員
青砥與藏議員

- ・町立小中学校運営
- ・公共交通(デマンド交通)
- ・地域創生推進交付金事業
- ・ふるさと納税事業
- ・ボランティア活動

P11



よしだ かつのり 議員
吉田克則議員

- ・役場庁舎前ドウダントツジ生垣
- ・外国人住民実態と支援や課題
- ・都市交流事業や災害協定等
- ・町職員女性管理職登用と会計年度任用職員

P12



ななみ ひろき 議員
七宮広樹議員

- ・こども誰でも通園制度
- ・埴町の伝統・文化・風習の記録
- ・健康サロン
- ・「はなわホール」の利用状況
- ・秋まつりの実施状況と今後の展開

P13



かなざわ たらう 議員
金澤太郎議員

- ・高校生の経済的負担支援
- ・風力発電工事に伴う交通安全対策
- ・過疎地域における協働に対する国の支援
- ・有害鳥獣対策
- ・役場窓口

一般質問用QRコード



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

一般質問とは

議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。





堀江 祐司 議員

Just in case
～念には念を～



個人QRコード

万が一に備えたクマ対策は

注意喚起、対策強化

質問

答弁

質問 万が一、クマの被害に備え町民の安全確保についての対策は。

答弁 9月1日に法律が変わり首長判断での駆除ができる、緊急銃猟が可能となりこれに対応するマニュアルを作成済。補正予算も計上している。IP告知、回覧版等でも注意喚起をしている。実施を進めている里山整備もクマ対策には有効である。

質問 ハンター（駆除隊）の人材確保はできるのか。

答弁 ハンターの高齢化もあり、県との会議にて補助要請を行い、返事待ち。駆除は、東白川猟友会、埴町鳥獣被害対策実施隊へ要請を行うことになる。銃猟が可能な人数は13人で平均年齢は69歳と高齢化しているが、対応が可能。

質問 クマを駆除・捕獲した際の処理方法は。

答弁 山間部での駆除の際は、山に埋設する。住宅街等での駆除の際は解体して焼却処理。

質問 役場職員の猟銃免許の取得と、駆除・捕獲の検討は。

答弁 職員が猟銃許可を取るのが早いのが困難。今活動している実務隊の方は長年にわたる経験と積んでいる。駆除には経験値や日頃の訓練が大切であるので銃所持者を専門で雇う考えである。

質問 埴町の補正予算、需用費と役務費の内容は。

答弁 需用費は防護盾、ヘルメット、ボディーカメラ、無線機など。役務費は緊急銃猟による物損保険料。

質問 クマ問題で、捕獲・駆除に対し、国の予算は。

答弁 環境省は、34億円投じ対策強化をしているが、県からは、まだ詳細が示されていない。今後具体的な内容が示されたら対応する。

質問 埴町独自の被害防止や情報配信の考えは。

答弁 出没の通報あれば猟友会及び職員で現地へ向かい確認する。IP告知システムで注意喚起をすることも、今後LINEなども活用し広く情報発信をしていく。



質問 町公共工事や民間事業者などに対しクマ対策費支出の考えは。

答弁 公共工事は、施工業者とクマ対策の協議後、妥当性を考え計上する。民間事業者へ対策費の予算化は現時点では予定していない。

埴工業高校跡地、今後のビジョンは

今後町の人口形態、社会情勢の変化等を勘案していく

質問 跡地利用の最新進行状況、情報、計画は。

答弁 11月10日に公文書を福島県に送り既に受理はされている。現在、県内には対象校が、16校の内3校が更地を申し出ていて、埴町は4番目。最短期でも令和13年の完了を目指す。



質問 跡地利用で町長の考える今後の計画、ビジョンは。

答弁 貴重な資産であり、町の将来を担う重要な拠点であると考える。解体・更地について県と十分協議をしていく。3億円の補助を視野に入れ、今後町の人口形態、社会情勢の変化等を勘案して、この町を担う次世代の方々のご意見等も最優先に、有効活用を進める。

質問

育休中の保育部退園の対応を

答弁

預かれる環境を整えていきたい

質問 埴町の子供たちへの教育で大切にしたいのは。

答弁 ふるさと教育をさらに充実させ、地域の人たちとの関わり合いを大切に、郷土愛を醸成したい。

質問 子育てにやさしい町とするには必要な施策では。

答弁 子どもは町の宝であり、色々な規制はあるが保護者に寄り添った園運営を目指し、預かれる環境づくりをしていきたい。

質問 来春から始まる誰でも通園制度への準備は大丈夫か。

答弁 国の方針の細部が決まれば準備を整えていく。

質問 小学校の統合の考えは。

答弁 現時点では考えていない。保護者、地域の人の意見をよく聞いていきたい。

来年度も続くフラワーキングとの連携は

質問 ダリア生産の見通しをどのように考えているのか。

答弁 農業としてのダリアは難しい。ダリア園をはじめ埴町の観光振興の核として力を入れていきたい。

質問 町がダリア海外販路開拓を目的としたネットワーク事業をフラワーキングに委託しているが。

答弁 現状では海外の販路促進には繋がっていない。

質問 フラワーキングへの補助事業は終わるが町との連携は来年度も続くのか。

答弁 来年度も続く。



ガソリン税暫定税率廃止の影響は

影響はないと考えている

質問 ガソリン税暫定税率が廃止されるが町財政への影響は。

答弁 ガソリン税の一部を財源とする地方揮発油譲与税の減収分については、普通交付税で措置され、現時点での町財政への直接的な減収の影響はないものと考えている。参考として、令和6年度地方揮発油譲与税決算額13,785千円に対する減収額を試算すると、2,121千円程度になると見込んでいる。



菊地 哲也 議員



個人QRコード

次世代に負をのこさない。

埴町にもクマがでたが情報の共有が必要では共有していきたい

質問 真名畑地区山林でクマ出沒情報があった。町ではクマに間違いないということを立て看板を設置したが町と町民との情報の共有が必要ではないか。

答弁 森林管理署が第2庁舎に入るので情報は入ってくると思われる。

一般質問

一般質問



あおと 青砥 ようぞう 與藏 議員



個人QRコード

しゅはり 守破離

町立小中学校の不登校対策は

あすなる教室への通学など 対応をしている

質問

答弁

質問 2024年度福島県内小中学校での不登校児童生徒数は過去最多の4365人と増加傾向にある。当町における不登校生徒数、対応策は。

答弁 塙中学校11名、塙小学校4名、笹原小学校1名で総数は16名。その内2名はあすなる教室に通学している。担当教員が電話連絡、家庭訪問、面談を行っている。

質問 今年度笹原小学校の卒業生が11名に対して、来年度の笹原小学校の新入生は1名で総生徒は23名になると聞く。父兄の思いや子供同士の学校生活における思い出づくりに対しての対応は。

答弁 基本的には父兄、地域の判断で考える。

デマンド交通実証事業の状況は

13地区で実施し、好評である

質問 デマンド交通実証事業における今年度の事業の進捗状況、事業評価について伺う。

答弁 田代区、田野作区、山形区、那倉区、湯岐区、大蔵区、片貝区、折籠区、木野反区、矢塚区、東河内1区、2区、真名畑区の13地区で実施。利用者は44名で8月以降毎日利用者がいる状況。利用者からは今後も続けてもらいたい、有料になってもいいので続けてもらいたいとの声をいただいている。

質問 生活バス予算は、国県の補助金800万円、町の負担金3000万円と聞く。町の負担比率を考えると、今行っているデマンド交通事業に切り替えるべきと思うが。

答弁 今年度の予算600万円で、令和8年度は利用者が増えたとしても1000万円と考える。バス事業会社と協議し、通学に利用する路線は確保しつつ、それ以外の路線は廃止の方向も考えていく時代が来ている。

デジタル田園都市国家構想 交付金事業の補助率は 実施事業費の50%

質問 デジタル田園都市国家構想交付金（地域創生推進交付金）事業の採択額・補助率・内容・期間を伺う。

答弁 令和6年から令和8年度までの3年間で1億3千万円を申請している。補助率は実施事業費の50%。

ふるさと納税事業において 米の返礼品は 提供している

質問 ふるさと納税事業において、美味しい塙町の米をアピールすべきだと思うが考えを伺う。

答弁 令和7年から塙町産米を提供している。



質問

役場前ドウダンツツジは

答弁

総合的に判断し撤去した

質問 「ドウダンツツジの生垣」を撤去した理由は。

答弁 庁舎建設外構整備工事で除去した。庁舎全体のセキュリティの強化に重きを置いた。子どもたちと保護者が「はなわホール」を待ち合わせ場所としている。庁舎を見通せることで安全・安心を見守ることができ、安全管理、防犯、維持管理の効率化、環境面

を総合的に判断して撤去に至った。

質問 町の財産であるドウダンツツジの行方はどのようになったのか。

答弁 焼却処分した。移植の検討もしたが、樹木の状態から根付かない可能性が高い。今後の維持費を考慮し撤去し、法にのっとり適正に処理した。

外国人住民登録実態は ベトナムからが一番多い

質問 町における外国人住民登録者数は。

答弁 12月1日現在の住民登録者数は男性74名、女性69名の合計143名となっている。在留資格は29種類ある。

質問 外国人の住民登録の実態は。

答弁 就労の方は、企業の人と付き添って役場にいられて住民登録の手続きをしている。

質問 外国人の課税は。

答弁 住民登録後に就労し、所得に税金がかかってくる。申告は、会社の方で給料支払報告書を基に課税している。国別ではベトナムからが一番多い。59名。

質問 町の支援や課題は。

答弁 外国人労働者への支援は、商工会による取り組みに加え、しらかわ地域定住自立圏

構想推進協議会において広域的な支援を実施している。課題は、給与面では首都圏と競うことが難しいため、福利厚生や充実や、仕事への意欲向上につながる資格取得の奨励等職場としての魅力を探るため、受入れ側の理解向上も必要と考えている。

町職員女性管理職の 登用は 活躍できる職場 づくりに取り組む

質問 町職員女性管理職登用の考え方は。

答弁 職員としての経験年数、職務経歴、能力などを総合的に勘案して管理職への登用を行っている。女性管理職の比率は残念ながら低い水準にあるものと認識している。働き方改革推進により、ワークライフバランスの実現を進めつつ、女性を始めとする職員が意欲を持って活躍できる職場環境づくりに取り組んでいきたい。



質問 町が協定締結している都市交流事業や災害協定先と協定内容は。

答弁 生活環境課では、災害対応に関する協定、食料や物資の援助、被災住民の受入、職員の派遣等を定めている。まち振興課においては都市交流事業や各種物産展への出店、イベントの開催を通じて観光交流人口の拡大、経済の活性化、町



よしだ かつのり 吉田 克則 議員



個人QRコード

役場庁舎前にあった生垣のドウダンツツジを処分したことは残念だ!



役場新庁舎及び駐車場含む風景

災害協定等締結一覧を

わかりやすく周知する

質問 町が協定締結している都市交流事業や災害協定先と協定内容は。

答弁 生活環境課では、災害対応に関する協定、食料や物資の援助、被災住民の受入、職員の派遣等を定めている。まち振興課においては都市交流事業や各種物産展への出店、イベントの開催を通じて観光交流人口の拡大、経済の活性化、町



ななみや ひろき 七宮 広樹 議員



個人QRコード

健康第一で、元気が1番！
目指せ、健康寿命を延ばして
生涯現役！

一般質問

「はなわホール」の早期利用は

必要に応じて前向きに検討

【質問】 埴町在住で、白河方面の高校へスクールバスで通学している生徒に対し、早朝（6時30分）からの利用ができる、通学環境改善に役立てると思うが。

【答弁】 必要に応じて使用時間の見直しも含め、前向きに検討していく。



各区で行われている「健康サロン」に期待するが
県内上位で、健康寿命が長い町である

【質問】 実施効果の分析等で、どのような成果が表れているのか。

【答弁】 埴町の「お達者度」は男性13位、女性3位。県内上位で健康寿命が長い町である。

埴町の伝統・文化・風習の記録は

映像や動画、音源を中心に
編纂をしていく

【質問】 人口減少や少子高齢化社会の流れによって途絶えてしまった伝統・文化・風習が、今後さらに見なくなり消えていくことを懸念している。途絶えてしまった伝統・文化・風習を復活させる地域力



健康サロンの様子

も厳しい状況であり、今できることとして、記録に残し後世に伝えていく取り組みが必要ではないか。

【答弁】 可能な限り収集し、史書として編纂することが重要である

質問

埴町の「こども誰でも通園制度」の取り組みは

答弁

段階を踏んで準備を進めている

【質問】 国のスケジュールモデルでは、地方自治体は12月に条例制定となっているが、12月定例会に上程しなかった理由と、町の条例制定スケジュールは。

【答弁】 国の通知等に変更が生じており、条例についてはこれから制定する予定。

【質問】 現状の一時預かり制度との違いは。

【答弁】 就労要件を設けず、原則として誰でも定期・継続的に通える機会を想定している。

【質問】 4月に向けた準備や、町民への広報活動を実施したのか。また、「こども誰でも通園制度」の利用者数の調査を行ったのか。

【答弁】 関係部署と連携しながら、段階を踏んで準備を進めている。また対象者となる未就園児世帯に対し、個別に概要チラシを配布しアンケート調査を実施している。

質問

高校生の交通費補助の考えは

答弁

他市町村を参考に検討している

【質問】 町に居住・勤務する方に奨学金返還の助成はできないか。

【答弁】 埴工業高校の卒業生に限った奨学金制度で実施しているが、現在返済のみ受けており、これを活用したい思いがあり、他市町村の事例を参考に検討している。

【質問】 町に居住・勤務する方に奨学金返還の助成はできないか。

【答弁】 進路指導の一環で制度説明をしていると思いが、町としてもまとめたい。

【質問】 一部奨学金返還では民間企業も助成可能だが、事業者への周知は可能か。

【答弁】 企業独自の奨学金返還支援策は魅力的なことではないか。制度の説明をしていきたい。



個人QRコード



風力発電事業者と工事調整はできているか
定期的な会議を持ち、調整を図っている

【質問】 風力発電工事に伴う交通量増等を確認できているか。

【答弁】 定期的に事業者と会議を実施し、関係車両の通行台数見込みやルートについて確認・協議を密に行っている。工事周知は事業者が回覧を通じて行っている。行政区の声も申し入れをし、改善を図っていた。

【質問】 支障木の整理等、通行安全確保について対応できているか。

【答弁】 所有者・道路管理者と協議し、対応

【質問】 案内看板の文字を大きくしたり、町外者向けに通行に支障のないルート図を観光施設等で配布するなどの対応はできないか。

【答弁】 看板の中身を工夫するとの回答を得ている。ルート図等については改めて協議していきたい。

ハンター育成の考えは

県に主導をお願いしたい

【質問】 ハンター育成の必要性があると考え

【答弁】 短期・簡単でできるものではない。不足の場合は、東白川広域で応援体制をお願いしていかざるを得ないとも考えている。最終的には県が支援し、ハンター育成をしていただくようお願いすることもある。

【質問】 有害鳥獣対策費増額の考えはあるか。

【答弁】 イノシシ1頭当たりの報償金は東白川郡4町村で足並みをそろえ設定している。金額変更の必要があると判断する場合は、4町村で協議していきたい。

【質問】 クマの出現が身近に迫っている。子供にクマ鈴の配布や学校施設等へのクマ撃退スプレーの配置を考えるとできないか。

【答弁】 教育委員会も検討しているが、まだ時期でないかと判断していた。必要の声が上がれば考えていきたい。

「地域協働プラットフォーム」の導入は

順次導入検討を進めたい

【質問】 地域協働プラットフォーム導入の考えはあるか。

【答弁】 国の様々な支援策を有効に活用し、地域実情に応じた取り組みを進めていきたい。既存の取り組みや仕組みを緩やかに結び付け、段階的に形作っていくことが現実的と考えている。



かなざわ たらう 金澤 太郎 議員

未来を見すえる

窓口対応改善は
向上に努める

【質問】 率先した来庁者への声掛け、業務開始時間直前の対応を柔軟にできないか。

【答弁】 来庁目的に沿った担当窓口の案内は職員を配置して対応している。今後も職員への意識づけを行い、声掛けできる体制を作っていく。窓口時間は全国的には短縮されている。当町では、短縮する方向にない。コンビニ交付の推進による利便性の向上に向け制度設計を考えていく。

ひとことインタビュー

令和7年12月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



ひろせ しゅういち
廣瀬 修一さん(大蔵)

埴町にとって、町民にとって何が大切かをベースに取り組んでいただきたい

傍聴した感想は
今回、区長連合会自主研修の一環として議会傍聴が予定されました。また、今年度区長の職に携わり様々な案件を経験し、それらを司る町当局、町議会に興味を持ち自身の見識を深めるため、議会傍聴に至りました。

傍聴したきっかけは
今回、区長連合会自主研修の一環として議会傍聴が予定されました。また、今年度区長の職に携わり様々な案件を経験し、それらを司る町当局、町議会に興味を持ち自身の見識を深めるため、議会傍聴に至りました。

傍聴した感想は
傍聴は議会2日目の午後で、他の区長の方々も参加し傍聴席が満席で、議会への関心の高さをうかがえました。今までは議会だよりにさらっと目を通す程度でしたが、生の議場の張り詰めた空気を体験することができました。議会だよりでは読み取れない町と議員との質疑応答は、大変興味深い体験となりました。他の区長からも、また傍聴したいという声が多く聞かれました。「メール券」「湯遊ランドはなわ」の質問は多数の議員の質問事項に入っていて、私たち町民も気になる案件だったと思います。

議会に対する意見や要望
一般質問は、これからの町を担っていくであろう子どもたちの教育に関する項目や、中山間地域のデマンド交通実証運行、外国人の就労実態、健康サロンで介護予防、健康維持など興味深い内容でした。しかしながら、一部で町民の声なのか？と思える

町に対する意見や要望
喫緊の課題については早急に、中・長期的な案件は多方面から計画的に。埴町にとって、町民にとって何が大切かをベースに取り組んでいただきたいと思えます。問題・課題は山積していますが、よろしくお願います。

町にお願するだけでなく、町民一人一人が自分でできること、やれることはやっていかなければならないと思ひ、私自身も微力ではありますが尽力したいと考えます。



あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

特定地域づくり事業協同組合制度の導入は考えているか
(令和5年6月定例会)

農・林・商工業者と対象事業者が幅広い特定地域づくり事業協同組合制度を導入する考えがあるか。

答弁

取り組みを考えていく

雇用創出、移住定住促進に資する制度で、第6次長期総合計画とも合致。制度の先行事例を含め急ぎ調査したい。

その後

段階的に形作っていくことが現実的

国の協働に対する支援助成が広がってきた。埴町では、既存の取り組みや仕組みを緩やかに結び付け、段階的に形作っていくことが現実的と考えている。



風力発電建設計画が予定されている
(令和3年12月定例会)

埴町への恩恵は。

答弁

埴町、常陸太田市及び北茨城市において、風力発電設備19基の建設が予定されている

埴町分の6基については、固定資産税収入の増加や、資材輸送路に係る道路改良工事等が見込まれる。

その後

資材輸送路となる県道高萩埴線については、一部区間の道路改良工事が完了

引き続き、同路線の未完了区間及び町道那倉矢塚線について、現在、道路改良工事を実施している。なお、固定資産税等の額については、運転開始後でなければ確定できない。



矢塚コミュニティ消防センター上空より

議会だより モニターさんの声

前回10月17日発行の議会だより172号
に対する声を掲載します。

①表紙・裏表紙

- 表紙ですが、もう少し詳細（何年生がどこでくらの）があれば良いと思いました。
- 経験は最良の先生のワードに目がいきました。人生はまさにそうだなと思います。
- 青空でのサイクリングを楽しみつつ町内を回ってもらい、防犯の一助にもなって頂けるのではないかと感じました。町内の多くの集落をサイクリングで楽しんで頂ければ、防犯の一助となるかもしれません。

②2～6ページ（令和6年度決算審議）

- 教えてダリちゃんの財政用語の解説が、普段何気なく聞いている言葉だが、その意味・内容が良くわかった。
- 資金配分にメリハリをとりましたが、その配分先を決定していく過程で町民の声もきちんと反映されているのか、私達町民自身も注視していく必要があると思います。

③7～10ページ（9月定例会）

- 町政を担う議員の皆さんの負担は増えるかもしれませんが、定数削減、報酬削減等検討するのであればどんどんアップデートしていくとグッドだと思う。

④11～17ページ（一般質問）

- 一般質問全体を総合的に見ると、高齢化が進む町の持続性について不安が感じられました。今後も外から見て魅力ある町、活気のある町を目指すことは変わりませんが、全世代の町民が心理的に安定し町に誇りを持つ状態をまず作っていくことが大切だと思います。

⑤その他

- 子供たちにも議会で話し合っている内容や、議会そのものを知り身近に感じてもらえる紙面、イラスト等で分かりやすく解説した頁が1～2頁くらいはあってもいいのかなと感じています。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

 少子化が進む中、子育てしやすい環境づくりはこれからの町にとって欠かせない課題です。町議会でも、子育て支援の充実や若い世代が町政に関心を持ちやすい仕組みづくりが求められています。特に、子育て世代は

忙しい議会の情報が届きにくいので、SNSでの発信やオンラインでの意見募集など、いつでも気軽に参加できる方法が必要だと思っています。より多くの若い世代の声が町政に反映されるように合つたものになるといいですね。未来の町でもたくさんの子どもの笑顔と、もっとたくさんの方のダリアを咲かせられるように、誰もが参加しやすい議会づくりを期待しています。



戸井田 弥生さん
(台宿)

若い世代に届く、分かりやすい町政へ

 この議会だよりの存在は知っていましたが、読み出したのはモニターになってからです。見たことがない人も多いと思うので、この記事もどのくらいの人目に入るのでしょうか。町政に興味、関心を持つための

学生の町政に興味、関心を持つためのツールとしてのツールとして議会だよりをよ



和知 佑介さん
(台宿)

学生が町政に興味、関心を持つためのツールとして



議員としての見識を高める



議会報の役割などを学びました

町村議会議員研修会に参加

福島県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が、10月20日にビッグパレットふくしま（郡山市）で開催され、全議員が参加しました。県内の町村議会議員が参加する研修会で、大正大学地域創生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏による「地方議会・議員の役割と議会改革の必要性―「住民自治の根幹」としての議会の作動―」、政治ジャーナリストの田崎史郎氏による「今後の政局・政治展望」についての講演があり、意義ある研修会となりました。

議会活動出欠状況

令和7年10月1日～令和7年12月31日

年月日	会議名称	堀江祐司	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	小林達信	藤田一男	下重義人	鈴木孝則
委員会														
7.10.2	広報常任委員会(議会だより編集)	私用遅参	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
7.10.6	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
7.10.29	総務常任委員会(所管事務調査)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	○	○
7.11.5	経済常任委員会(所管事務調査)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	私用遅参	-	○	-
7.11.28	予算決算常任委員会(埴町振興計画)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.12.2	議会運営委員会(12月定例会運営)	-	-	○	○	-	私用	私用遅参	-	○	-	-	○	○
7.12.4	埴町議会議員の定数及び報酬に関する調査特別委員会(委員会の進め方)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.12.10	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-
7.12.10	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-
7.12.10	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
7.12.12	議会運営委員会(追加議案)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
7.12.12	議会運営委員会(12月定例会検証)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
定例会・臨時会														
7.12.10	12月定例会(1日目: 議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.12.11	12月定例会(2日目: 一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.12.12	12月定例会(3日目: 一般質問、議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会														
7.11.28	全員協議会(埴町役場庁舎建設第Ⅱ期工事請負契約の内容)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.12.4	全員協議会(令和7年度定期監査等結果報告 他)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.12.12	全員協議会(追加議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
研修会・その他														
7.10.20	町村議会議員研修会(福島県町村議会議長会主催)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.10.24	議会報告会・意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：グラウンド・ゴルフ教室
 (埴町総合型地域スポーツ事業)
 活動場所：町営体育館アリーナ及び野球場
 活動日：毎週水曜日
 午前9時30分～午前11時30分
 会員：52名

みんな、楽しく活動しています。

グラウンド・ゴルフは年齢や体力に関わらず、どなたでも気軽に始められるスポーツです。楽しく身体を動かし、笑顔あふれる仲間との交流を楽しみながら、健康維持・体力づくりを目指します。

用具もレンタルできますので、興味がある方は是非遊びに来てください。『初心者も大歓迎で～す。』



編集後記

あけましておめでとうござ
います。

本年も皆様にとって心豊か
な1年になりますようお祈り
申し上げます。

町では、令和8年2月8日
(日)に町政施行70周年・新庁
舎竣工記念式典が挙行されま
す。先人たちの長きにわたる
尽力に感謝するとともに新庁
舎竣工を機に町がますます発
展することを心からお祈りし
たいと思います。

さて、議会だよりも173
号になります。これまで議会
での内容を読みやすく分かり
やすい紙面づくりに心掛けて
きました。これからも議会へ
の関心を高めてもらえるよう
に、さらに読みたくなる紙面
作りを目指して発行してい
きたいと思えます。

皆様のご意見やご感想をお
聞かせいただければ幸いです。

吉村 守広

あなたも議会議を 傍聴してみませんか

令和8年3月定例会は
3月9日(月)からの予定です。

場所 役場2階 議場

詳しい日程は、議会運営委員会で決定後に
ホームページ等でお知らせします。



広報常任委員会

- | | | | | | |
|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 吉田 | 吉田 | 吉田 | 吉田 | 吉田 | 吉田 |
| 堀江 | 堀江 | 堀江 | 堀江 | 堀江 | 堀江 |
| 金澤 | 金澤 | 金澤 | 金澤 | 金澤 | 金澤 |
| 菊地 | 菊地 | 菊地 | 菊地 | 菊地 | 菊地 |
| 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 |
| 守広 | 守広 | 守広 | 守広 | 守広 | 守広 |
| 廣明 | 廣明 | 廣明 | 廣明 | 廣明 | 廣明 |
| 元久 | 元久 | 元久 | 元久 | 元久 | 元久 |
| 哲也 | 哲也 | 哲也 | 哲也 | 哲也 | 哲也 |
| 太郎 | 太郎 | 太郎 | 太郎 | 太郎 | 太郎 |
| 祐司 | 祐司 | 祐司 | 祐司 | 祐司 | 祐司 |